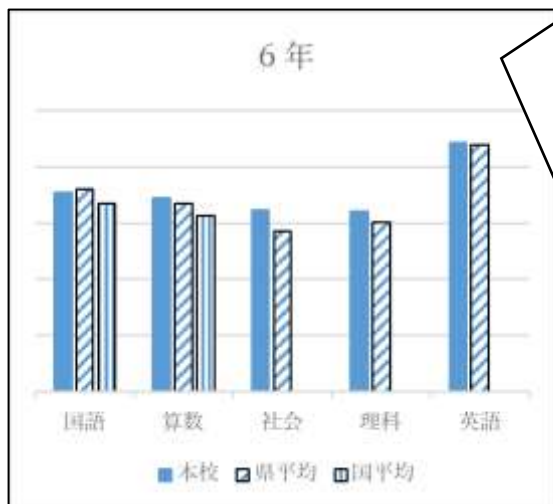


# 令和5年度 学力・学習状況調査の結果等のお知らせ

4月に実施されました全国学力・学習状況調査(6年国語・算数)、津幡町学力調査(5年国語・算数)、石川県基礎学力調査(4年国語・算数、6年社会・理科・英語)の結果をお知らせいたします。

## 1. 調査結果



2教科(国語・算数)とも全国平均を上回りました。算数、社会、理科、英語は県平均を上回る結果となりましたが、国語は県平均をわずかに下回る結果となりました。

### 6年の強み

国語…図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

算数…加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりして正しく計算すること。

社会…石川県の地形や交通の様子について理解することや資料を基に考察し、適切に表現すること。

理科…昆虫の育ち方の順序を正しく理解すること、水の状態変化について理解すること。

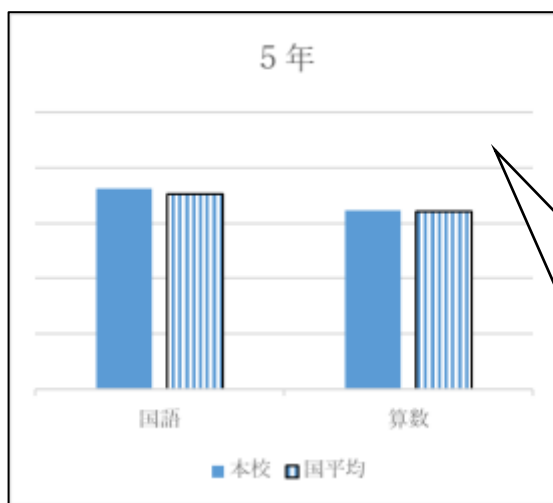
英語…身近で簡単な語句や基本的な表現を聞き取ること。

### 6年生の弱み

- 複数の叙述(文章と図表)を結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、複数資料をもとに考えを持ったりすること。

- 文末や主述の関係を適切に掴んで、表現すること。

- 既習や実際の生活と関連付けながら自分の考えを明確にしたり、実験結果を予想したりすること。



国語、算数ともに全国平均を上回る結果となりました。

### 5年生の強み

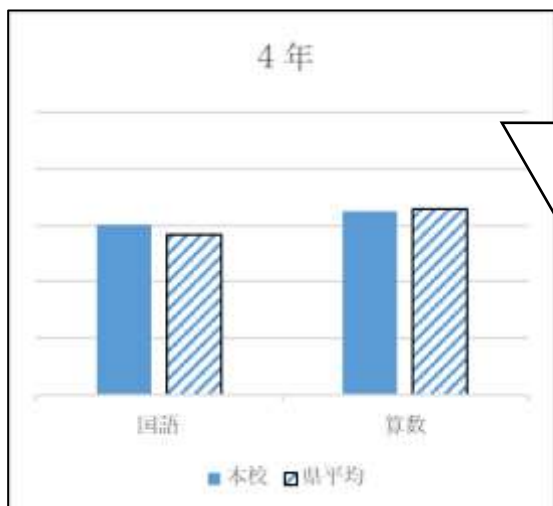
国語…必要なことを聞き取ることや、正しく接続語を使うこと。

算数…2つの数量関係について式に表したり、小数の仕組みを理解したりすること。

### 5年生の弱み

- 要旨などをまとめる際に必要な叙述を選ぶこと。

- 基礎的な計算の理解やデータを活用すること。



国語は県平均を大きく上回り、算数は県平均をわずかに下回る結果となりました。

### 4年生の強み

国語…漢字やローマ字の読み書き、話の中心や話す場面を意識して、表現を工夫すること。

算数…重さなどの単位を理解すること、物の形に着目して、形の構成について考えること。

### 4年生の弱み

- 相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

- 式や必要な言葉を使って考えの説明を書くことや目的に応じて、適切なグラフを選ぶこと。

4, 6年生については質問紙調査も併せて行いました。

2学年ともに「授業の内容はよく分かる」「先生はあなたのよいところを分かってくれている」と答えた児童が多く、授業にしっかり集中して取り組んでいる様子や先生との良好な関係性が伺えます。また、「自分で計画を立てて勉強している」「学校の授業の予習・復習をしている」の項目では、昨年度より一定の改善が見られました。ネットサミットの取組や家庭学習（自主学習）の取組の成果が少しずつですが表れていると思われます。さらなる改善ができるよう取組を継続し、工夫していきたいと思います。

6年生では、「平日読書の時間」の時間に改善が見られました。水曜日・週末読書の取組や「わたしの本だな」の取組の成果と考えられます。今後も継続していくことに合わせて、授業の中で図書館の利活用を進める工夫を行っていききたいと思います。

一方で、「自分の考えを发表或し、話し合ったりすること」が好きではないと答える児童が多く、発表することに抵抗を感じている児童の割合が高くなっています。「全員参加」の視点を今一度大切に、「対話」を中心とした授業づくりを行っていく必要があると考えています。今後も児童一人一人と真摯に向き合い、全員が「分かった」「できた」と思える授業づくりを心掛けていきます。

## 2. 学校で取り組んでいること

### 授業の中で

- ・「対話」を大切に、根拠を明確にして書いたり話したりできるようにする。
- ・根拠や理由が曖昧な場合には「どこから考えたのか」「なぜそこから分かるのか」等の問い返しを行う。
- ・授業の後半で活用する場を設け、考えをさらに深めていく。
- ・まとめを書く際に、時間や条件を制限し、書ききることに慣れさせていく。

### 国語

- ・互いの文章を共有する場面では、まず文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、具体的な視点を与える。そのうえで感想や意見を述べ合う中で、自分の文章のよさを見付ける場面を設定する。
- ・意見の伝え合いだけに終わらず自分の学びを確かめる時間を設定する。
- ・漢字指導を充実する。（筆順、音訓読み、意味、熟語、例文等）

### 算数

- ・図や表・数直線・グラフと式を関連付けたり算数用語を用いたりして説明できるようにする。
- ・基本的な計算の力がしっかり身につくように、繰り返し何度も練習させる。
- ・必要な数字、式、言葉を確認、話し言葉ではなく、書き言葉でノートに書くよう繰り返し指導していく。

### 社会

- ・複数の資料を関連付け、それを具体的な根拠として示しながら考えたことを表現できるようにする。
- ・社会用語を正しく用いて、まとめを自分の言葉で書くことができるようにする。

### 理科

- ・仮説を立てる時間や考察する時間を設け、実験結果や観察したことを根拠に、考えを深めるようにする。
- ・理科用語を正しく用いて、まとめを自分の言葉で書くことができるようにする。

## 3. 家庭でぜひ取り組んでいただきたいこと

### 学習面・生活面

- ・計画を立てて自学(家庭学習)に取り組むようにする。
- ・時間と場所を決め、毎日勉強する習慣をつける。(10分間×学年以上)
- ・平日読書(水曜日を中心に)、週末読書を行うことで、15分は読書をする習慣を身に付ける。
- ・筆箱、下敷き、教科書、ノートなどの学習用具をしっかりと持たせる。(毎日鉛筆を削る。)  
※毎月第1月曜日は学習用具点検日になっています。
- ・8時間～9時間は睡眠時間を確保し、毎日同じ時刻に寝たり起きたりするようになる、テレビやゲーム等の時間を決めるなど、望ましい生活習慣を身に付けさせ、それを継続する。※ネットサミットの取組の充実を図る。

家庭と学校との連携が強まることで、児童の健全育成が促され、それがさらなる学力向上になって表れてくるものと信じております。ご協力よろしくお願いたします。